

# 学生の「主体的な学び」について考える

第36回東北・北海道地区大学高等  
・共通教育研究会 参加報告



教務部長  
石川千温



札幌学院大学

## 分科会 I 「学生が自ら学ぶ授業」 で印象に残った事例発表



- 1. 「演習授業による学習意欲向上の試み、
  - 秋田県立大学 電子情報システム学科、廣田千明」
- 3. 初年次ゼミの開講 会津大学の取組み
  - 会津大学 青木 滋之
- 4. 北海道情報大学における数学リメディアル教育の取組み
  - 北海道情報大学 森山洋一
- 6. 『国際共修ゼミ』の開設とその成果
  - 東北大学 佐藤勢紀子

### 1. 「演習授業による学習意欲向上の試み、 秋田県立大学 電子情報システム科



- 現状の問題点
  - 基礎学力の低下、高大の教育内容のギャップ、受け身学生の増加、数学、物理の苦手意識、留年、退学率が10%強
  - 成績階層に教育の視点が置かれ、上位層が不満
- 対策
  - 留年原因の特定⇒主要科目の補習実施
    - 問題意識を持つ教員5名が担当、個別指導方式
  - 2012年度から正課科目として単位化
    - 学生がグループ教え合い、自主学習化へ
    - 外発的動機(単位化)⇒内発的動機(自主学習化)へ

### 3. 初年次ゼミの開講 会津大学の取組み



- 現状の問題点
  - クラス制の形骸化、不祥事頻発
    - 学生の名前を覚えられない
    - 外国人教員が多い
- 対策
  - スタートアップゼミ、週1ゼミ
  - アカデミックスキル、大学生への転換教育
    - 学生主体のテーマ学習
- 効果
  - 人間関係の醸成
  - 学生の精神面、生活面のケア、躓きの早期発見

#### 4. 北海道情報大学における数学リメディアル教育の取組み



- 現状の問題点
  - 基礎学力の低下 特に数学が弱い
- 対策
  - H15年度から数学リメディアル開始
  - e-learningで演習問題、週2回のうち1回を当てる
    - 100マス計算などもある
  - 複数教員＋高校の数学退職者
- 効果
  - アンケートでは学習効果が認められる
- 問題点
  - 習熟度の低い学生はこれでもついてこれない

#### 6. 『国際共修ゼミ』の開設とその成果 東北大学



- 現状の問題点
  - 学生の国際交流機会の少なさ
  - 留学生の増加で日本語教育機会が不足
- 対策
  - 外国人留学生の日本語の授業に日本人学生ボランティアを利用⇒ボランティアなので継続性に欠ける
  - 「国際共修ゼミ」の開設
    - 日本人の特別課程クラス、全学共通クラスを同時開講
    - 両者すなわち日本人学生と留学生にメリット(単位化)があるように開講する
- 効果
  - 交流の機会が増えたとのアンケート結果あり